

ふじ市議会だより

第207号 令和8年5月1日



第18回富士山百景写真コンテスト 富士山写真部門入選
「満開の春」山本裕さん撮影(エリア:富士川地区(平地))

新年度の施政方針を新市長に問う 委員改選し、新体制で新年度をスタート

報告

富士市議会で新たな条例を制定しました！…………… 3

報告

「議場コンサート」を開催しました！…………… 11



議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

1月臨時会

■全会一致で可決、承認した議案

報告 専決処分の承認
令和7年度富士市一般会計補正予算(第6号)
令和7年度富士市一般会計補正予算(第7号)

発議 規則の改正
富士市議会傍聴規則

2月定例会

■全会一致で可決、同意した議案

予算 令和7年度 富士市各会計補正予算
一般会計(第8号)
≪特別会計≫国民健康保険事業(第4号)・後期高齢者医療事業(第2号)・介護保険事業(第3号)・新富士駅南地区土地区画整理事業(第2号)・第二東名IC周辺地区土地区画整理事業(第2号)・駐車場事業(第1号)・森林財産(第1号)
≪企業会計≫水道事業(第2号)・水道事業(第3号)・公共下水道事業(第3号)・病院事業(第5号)

予算 令和8年度 富士市各会計予算
≪特別会計≫介護保険事業・新富士駅南地区土地区画整理事業・駐車場事業・富士山フロント工業団地第3期整備事業・森林財産・鈴川財産区・今井財産区・大野新田財産区・檜新田財産区・田中新田財産区
≪企業会計≫水道事業

条例 条例の制定
富士市防災・減災基金条例
富士市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

条例 条例の改正
富士市表彰条例
富士市附属機関設置条例
富士市行政手続条例
富士市職員定数条例

富士市職員の定年等に関する条例等
富士市職員の給与に関する条例
富士市職員の給与に関する条例及び富士市職員の特殊勤務手当に関する条例
富士市職員の特殊勤務手当に関する条例
富士市職員等の旅費に関する条例
富士市特別会計条例
富士市鈴川財産区等管理会条例
富士市手数料条例
富士市立保育園の設置等に関する条例
富士市救急医療センター条例
富士市斎場条例
富士市国民健康保険税条例
富士市介護保険条例
富士市火入れに関する条例
富士市都市公園条例
岳南広域都市計画富士駅北口周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
富士市営住宅条例
富士市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例
富士市水道事業及び公共下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び富士市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
富士市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例
富士市育英奨学条例
富士市立体育館の設置及び管理に関する条例
富士市火災予防条例
富士市消防団員等公務災害補償条例

契約 契約の一部変更
富士市総合体育館等整備・運営事業

その他 市道路線の認定等
市道路線の認定・市道路線の廃止・市道路線の変更

人事
副市長の選任
富士市監査委員の選任
富士市固定資産評価審査委員会委員の選任
富士市鈴川財産区等管理委員の選任

発議
富士市の救急医療を守り抜く条例の制定
総合計画審査特別委員会の設置

■賛成多数により可決した議案

予算 令和8年度 富士市各会計予算
一般会計 (賛成29:反対2)
≪特別会計≫国民健康保険事業(賛成30:反対1) 後期高齢者医療事業 (賛成30:反対1)
≪企業会計≫公共下水道事業(賛成30:反対1) 病院事業 (賛成30:反対1)

条例 条例の改正
富士市子ども医療費助成金支給条例(賛成30:反対1)

(仮称)富士市の救急医療を守り抜く 条例検討特別委員会の結果報告

1月29日に(仮称)富士市の救急医療を守り抜く条例制定に向けた検討についてを議題として開催しました。

令和8年1月29日に委員会を開催し、昨年12月1日から本年1月5日にかけて行われたパブリック・コメント制度による市民からの2件の意見について協議しました。いずれも今後の参考とするものとし、当特別委員会としては、条例案を原案のとおりとすることに決し、条例案は会議規則第14


条第2項の規定により委員会提出議案として、2月定例会に上程することとしました。これにより、当特別委員会の所期の目的は達成したと判断し、今回の委員会をもって、審査を終了することに決しました。よって、当特別委員会は廃止となりました。

富士市議会で新たな条例を制定しました！

富士市の救急医療を守り抜く条例は、令和8年2月13日に開催された本会議で可決し、4月1日から施行されました。条例を制定するための特別委員会を立ち上げ、委員会発議で条例案を上げたのは、富士市議会の歴史においても、今回が初めてとなります。**<条例案の概要>**市民が安心して救急医療を受けられることができる体制を安定したものにしていくためには、医療関係者の努力はもとより、市民一人ひとりが救急医療

の重要性を理解し、救急医療を適正に利用し、また救命活動に協力することにより、市、市民、医療機関等が一体となって支えていくことが求められます。そのため本条例では、市、市民等、救急医療機関、市立中央病院、議会、それぞれの役割について定めるとともに、関係機関で構成する連絡調整会議の設置や、救急医療の提供の状況及び効果を毎年評価することなどを定めています。

条例の全文・逐条解説等はこちら▶



今号から全ページカラー化を実現！

市民に開かれた議会への取組の一環として、親しみやすく身近に感じられる市議会だよりを目指し、今号から全ページのカラー化を行いました。今後も、より見やすく親しみやすい「ふじ市議会だより」となるよう、レイアウトや内容の充実を図っていきます。

PDFで御覧になりたい方はこちら▶



1月臨時会 / 2月定例会
常任委員会の審査
代表質問 / 一般質問等
特別委員会の中間報告等
議会の構成
議会広報委員のページ

1月臨時会 / 2月定例会
常任委員会の審査
代表質問 / 一般質問等
特別委員会の中間報告等
議会の構成
議会広報委員のページ

2月定例会常任委員会の審査（令和8年度当初予算）

予算決算委員会

（当初予算16件）

【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治

【委員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●通学路防犯カメラ設置事業費補助金制度を幅広く周知することを要望

要望 まちづくり費について、令和6年度決算議会事業評価を受け、通学路防犯カメラ設置事業について、補助率及び補助限度額を引き上げ、維持管理や修繕・取替え等も補助対象となるよう拡充し、地域の防犯活動を支援するとともに、駅周辺や公園等へ市が街頭防犯カメラを設置することです。町内会連合会及びまちづくり協議会役員の会合等の場で新しい補助金制度の周知に努めていくとのことですが、幅広く周知し、設置目標を達成できるよう取り組んでください。

福祉保健分科会

●県内初となるユースクリニックの運営における他部署との連携は

問 県内初となるユースクリニックの運営事業に158万円計上し、医師等の有資格者の協力の下、月2回程度公共施設等を活用した啓発及び相談対応と、24時間365日のSNSでの相談対応を予定しているとのことですが、所管することも未来部では、今後の他部署との連携をどのように考えていますか。

答 本事業は、社会問題化している思春期・若者特有のメンタル不調や性に関するトラブル等に対応するため、中高生が様々な健康相談や悩みについて気軽に相談できる居場所づくりと専門的かつ包括的なサポート体制を提供することを目的として開始するもので、妊娠SOS相談等の事業を所管していることから、こども未来部こども家庭課が所管していますが、思春期保健事業を所管する保健部地域保健課や、利用対象者が小中高生、その他若年者であることから、教育委員会とも密に連携を取りながら事業を進めていきたいと考えています。



産業教育分科会

●人流データ分析サービスの今後の活用方法は

問 今年度から運用を始めた人流データ分析サービスでは、昨年の富士まつりの人流データを集計、分析を行い、来場者の年齢層や時間・場所別の混雑状況を的確に抽出することができたとのことですが、来年度の事業にどのように活用していくのですか。

答 人流データの分析結果では、富士まつりの来場者の約48%が10代、20代の方であったことから、市内全戸へのチラシの配布に加え、来年度は若い方をターゲットにしたPRを考えています。また、このサービスにはAIによるアドバイス機能もついているため、会場内の混雑状況を時間帯ごとに把握することができ、この機能を活用することで、祭り会場内の混雑緩和につながるイベントの実施などを考えています。

建設消防分科会

●市営駐輪場の利用者のニーズや要望を把握し、必要な改修を行うことを要望

要望 駐輪場維持管理事業費の吉原駅北自転車駐車場修繕工事では、塩害による腐食や老朽化による損傷など、早急な対応が必要な箇所のみを修繕するとのことですが、令和6年度決算議会事業評価において要望したユニバーサルデザインの導入や、大型化した自転車の駐車スペースの確保については反映されていないため、令和8年度に実施する市民アンケートや利用状況調査により、利用者のニーズや要望を把握した上で、今後は各駐輪場において必要な改修をしてください。



各分科会において、上記の質疑・答弁・要望があり、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計予算、公共下水道事業会計、病院事業会計の5件について討論を行った後、全ての付託議案を可決し、次の事項を当局に要望することになりました。

【一般会計】

- まちづくりセンター使用料について、有料化開始時に想定していた収入を大きく下回る状況となっているので、企業等の有料利用の増加に向け努力を続けていくこと。
- 利子及び配当金について、債券や大口定期預金の利率は上昇傾向にあるので、差し当たり取り崩す予定のない基金については、適切な現金比率を見極め、積極的な基金運用に努めていくこと。
- 高校生議会について、来年度、参加の高校生を公募することのだが、募集に当たっては、現在の市内の全日制高校6校だけではなく、通信制高校や市内在住で市外の高校に通っている生徒など、幅広く参加を募っていくこと。
- 子ども・若者海外留学支援補助金について、1人当たり20万円という補助上限額を、市民税非課税世帯の場合には30万円に拡充しているが、2分の1の補助率は同じことから、仮に渡航費用が40万円かかった場合、市民税非課税世帯の方であっても補助額が20万円と変わらないため、制度設計に課題があると考え、意欲のある若者を本当に支援できる制度となるよう検討すること。

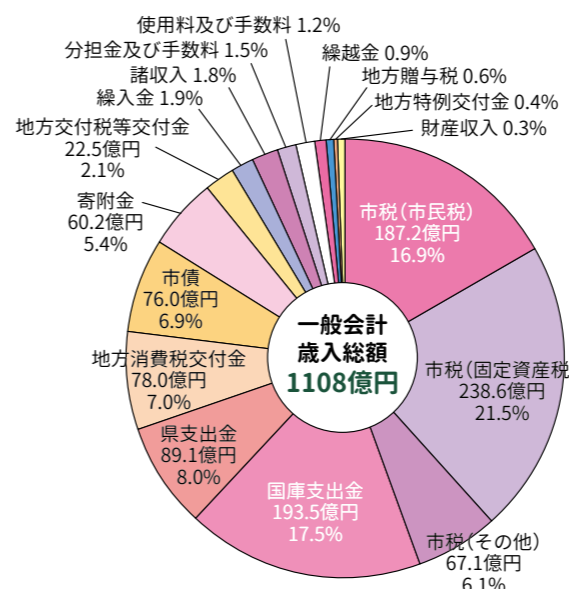
- 蒲原病院組合補助金について、病院の診療に影響を及ぼすことのないよう、構成3市による協議において、早急に負担割合を妥結するよう取り組むこと。
- 雨水浸透・貯留施設設置助成費について、現在の制度では設置数の増加に限界があるため、令和6年度決算議会事業評価において、今後の方向性のうち、事業内容を「大幅に見直す」とし、成功事例を調査・研究し、抜本的な制度の見直しを早急に検討することを要望したが、事例調査に係る予算は計上されておらず、職員による他自治体への聞き取りや、ウェブサイトでの調査を行うとのことである。抜本的な制度の見直しには、他自治体の事業内容や背景等の詳細を把握する必要があると考えるため、先進自治体の視察を実施する等、制度見直しの手法について再度検討すること。



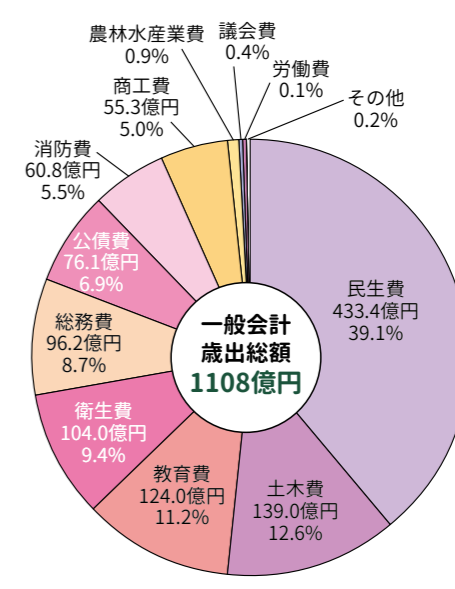
令和8年度 各会計予算を可決

＜一般会計＞ 1108億円
 ＜特別会計＞ 559億6860万円（国民健康保険事業ほか11会計）
 ＜企業会計＞ 383億3810万円（水道、公共下水道、病院の3事業会計）

一般会計・歳入 収入別内訳



一般会計・歳出 目的別内訳



1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ

1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ

2月定例会常任委員会の審査(3月)

2月定例会常任委員会の審査(令和7年度補正予算)

総務市民委員会

(条例12件)

【委員長】井出晴美 【副委員長】佐藤菊乃
【委員】川窪吉男、遠藤盛正、下田良秀、伊東美加、小池義治、新家大輔

●今後の市立高校の在り方について 行政経営的な視点を踏まえた検討を

要望 時代の変化や急激な少子化を踏まえ、富士市立高等学校の今後の在り方について早急に検討を進めるため、富士市立高等学校在り方審議会を新たに設置するとのことである。教育や人材育成に関する議論をしていくため、審議会は

教育委員会が所管し、市長が出席する総合教育会議等で問題点の共有を図り、総合的に判断していくとのことだが、検討に当たっては、長期的な財政負担やファシリティマネジメントなど行政経営的な視点が欠かせないと考えているので、情報提供し、しっかりと検討して欲しい。

福祉保健委員会

(条例7件)

【委員長】杉山 諭 【副委員長】荻田丈仁
【委員】太田康彦、笹川朝子、関 明美、植松光徳、望月 昇、小野泰正

●現在の子ども医療費の通院時自己負担金に対する市医師会からの意見は

問 子ども医療費の無償化は、経済的な理由から保護者が医療機関への受診をためらうことなく、子供が必要な医療を受けやすくすることで、子供の健康保持につなげることを目的としているとのことですが、市医師会からは、現在の500円の自己負担金があることで、子供の健康に害があるという意見はあったのですか。

答 市医師会からは、自己負担金子供の健康を害するという具体的な意見はありませんでしたが、自己負担金がなくなることで、早期受診につながり、病気の早期発見や重症化予防につながるなどの意見をいただいています。また、昨年実施したアンケート調査では、500円の自己負担金があることで、約20%の方が受診をためらったことがあると回答したことから、受診をためらうことで健康を害する可能性があると考えています。

産業教育委員会

(条例2件)

【委員長】長谷川祐司 【副委員長】福永意人
【委員】稲葉寿利、高橋正典、藤田哲哉、吉川隆之、望月 徹、山岡祐貴

当委員会に付託となった議案2件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

建設消防委員会

(条例7件、その他3件)

【委員長】佐野智昭 【副委員長】石川浩司
【委員】小池智明、鈴木幸司、山下いつみ、笠井 浩、萩野基行、杉山幸宏

●消防職員を増員し、安全管理隊と日勤救急隊を創設する理由は

問 消防職員の定数を312人から325人に増員し、安全管理隊及び日勤救急隊を段階的に創設するとのことですが、どのような経緯からですか。また、どのような職員を配備しますか。

答 近年相次いでいる災害現場での消防隊員の事故を本市で起こさないようにするため、知識と経験が豊富な定年延長した消防職員を安全管理隊に配備し、災害現場での安全管理等を強化していきたいと考えています。また、現在の日中の救急搬送体制が逼迫していることから、定年延長した救急資格を持つ消防職員等で日勤救急隊を組織し、救急事案への対応力を高めていきたいと考えています。

予算決算委員会

(補正予算11件)

【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治
【委員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●申請が見込みを下回った要因の詳細な分析を

要望 移住就業支援補助金1820万円の減額は、補助金に100万円が加算される18歳未満の子供の数が令和6年度の20人から12人に減少したこと、子育て・若者世帯F-U J Iターン奨励金2160万円の減額は、新規事業であったことから、人口統計データや令和6年度に実施した転入者アンケートの結果を基に165件の申請を見込んでいたが、実際には37件にとどまったことによるものとのことですが、原因をより詳細に分析し、次年度以降に生かしてください。

福祉保健分科会

●中央病院が徴収を始めた選定療養費の周知を

要望 二次救急医療に該当しない軽症患者が中央病院の救急外来を受診する場合や、かかりつけ医等の紹介状なしで中央病院を受診する場合には、昨年10月から7700円の選定療養費の徴収を始めたとのこと。市ウェブサイトや病院広報紙、待合室等で周知しているとのことですが、市民や関係医療機関が十分に理解しているとは言い難いため、しっかりと周知に努めてください。

産業教育分科会

●林業振興のため民間企業から派遣される方は

問 林業振興における富士市の課題である営業力や人材不足を解消するため、国の企業派遣型地域活性化起業人制度を活用し、専門性の高い民間人材の派遣を受け入れ、富士市産材の営業や新製品の提案などの業務を担ってもらうとのことですが、現在、どのような企業を候補に検討しているのですか。また、派遣される人材として、どのような人物を希望しているのですか。

答 候補の企業としては、住宅の外装材や内装材、合板の製造や販売などを行っている東京都に本社のある企業に打診しているところです。また、希望する人物像としては、企業において営業に従事し、実践的なノウハウがある方で、市の職員と共に円滑に業務を遂行できる協調性のある方を希望しているところです。

建設消防分科会

●救急安心電話相談窓口の利用状況は

問 救急安心電話相談窓口(#7119)負担金118万円余の減額は、当初、県が感染症対策として予定していた、相談窓口数を調整したためとのことですが、24時間体制となった令和7年4月からの相談件数はどのような状況ですか。

答 事業主体である県に確認したところ、富士市の相談件数は令和6年10月から令和7年3月までは678件、令和7年4月から12月までは1596件となっており、県内で3番目に多い件数でした。

●緊急性の高い消火栓437基の修繕の進め方は

問 消火栓維持管理費5500万円を増額し、昨年10月20日に発生した消火栓破損事故を受け実施した点検により、緊急性が高いと判断された消火栓437基の修繕等を行うとのことですが、今後どのように進めていくのですか。

答 修繕については、順次修繕を行い、令和10年度までに完了する予定ですが、緊急に修繕が必要と判断された消火栓のうち、劣化が著しいものや修繕が令和9年度以降となるものについては、令和8年度末までに補強金具を取り付ける応急措置を行います。

各分科会において、以上の質疑・答弁・要望があり、全ての付託議案を可決し、予算決算委員会として、以下の事項を当局に要望しました。

- 臨時発熱センターの開設について、救急医療センターは、本市の一次救急医療を支える拠点であり、基幹病院である中央病院への患者の集中を防ぐ等、地域医療全体を守る役割も担っているため、救急医療センターが逼迫することのないよう臨時発熱センターの開設・運営について早い時期から検討するとともに、医薬材料費を含む経費について精査すること。
- 富士市第二東名IC周辺地区土地整理事業の実施による効果などの評価、検証を行い、その結果を公表すること。

1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ

1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ

各会派代表質問

総務市民委員会

(条例3件、陳情1件)

【委員長】井出晴美 【副委員長】佐藤菊乃
【委員】川窪吉男、遠藤盛正、下田良秀、伊東美加、小池義治、新家大輔

●積極的に寄附等を受け入れ、基金への積み立てを

要望 富士市防災・減災基金条例制定について、今回、市内在住の方からの金地金等の寄附を原資として基金を創設するとのことですが、防災分野で基金を持つことはよいことだと考えるの

で、ふるさと納税をはじめ、積極的に寄附等を受け入れ、基金へ積み立ててください。



産業教育委員会

(条例1件)

【委員長】長谷川祐司 【副委員長】福永意人
【委員】稲葉寿利、高橋正典、藤田哲哉、吉川隆之、望月 徹、山岡祐貴

当委員会に付託となった議案1件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

陳情

東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

◇総務市民委員会にて審査◇

以前より、全国の市区町村庁舎内における無許可での政党機関紙の勧誘等が問題視されてきたが、東京都新宿区の状況が報道で公になったことで、社会的な関心が一層高まっている。

本市においても、政党機関紙の勧誘行為により心理的な圧力を感じている職員がいないか、まずは現状把握に努めてほしい。また、庁舎管理規則の趣旨を踏まえ、地方議員に対してもルール遵守を改めて確認する対応を行ってほしい。庁舎内での勧誘行為を通じて、議員から職員に対する心理的圧力や意思に反する購読

が生じることのないよう、市議会として早急な確認をお願いしたい。

【審査結果】

職場におけるハラスメントは、各職員が能力を十分に発揮することを妨げ、尊厳や人格を不当に傷つける行為であり、公務能率の低下や職場環境の悪化を招きかねない問題である。このような中、全職員を対象にパワハラやカスハラ等の実態把握を目的としたアンケート調査を本年度実施したところ、陳情案件に類する内容について該当する職員は確認されなかった。また、陳情案件に関する職員からの相談等についても、各人事担当部局で受けた実績はない。このため、現時点では、当該案件に特化した調査等をの予定はないが、今後、事例が確認された場合や、職員から相談があった場合には、当該職員の意思が尊重されるよう適切に対応していくとの当局所見を了承することに決しました。

※会派とは、議会内において基本的な政策が、一致する議員3人以上により、結成された同志的集合体のことです。(○は質問者)

会派の紹介

心政富士	凜の会・公明党	民主ふじ	草の根ふじ	真政会	知行合一
○下田 良秀 川窪 吉男 ○佐野 智昭 藤田 哲哉 荻田 文仁 杉山 幸宏	○望月 昇 高橋 正典 井出 晴美 萩野 基行	杉山 諭 ○長谷川祐司 山下いづみ 佐藤 菊乃	○植松 光徳 福永 意人 笠井 浩 小池 義治	○太田 康彦 稲葉 寿利 遠藤 盛正 石川 浩司	○鈴木 幸司 新家 大輔 吉川 隆之

「狂愚まことに愛すべし、才良まことにおそるべし。諸君、狂いたまえ」に込めた思いとは 知行合一

議員 むすびの言葉として吉田松陰の言葉を引用しているが、この言葉は庶民を動かし、後に明治維新という草莽崛起を促すことになる言葉である。市長はどのような思いでこの言葉を選んだのか。

市長 この言葉は、常識や前例に縛られず、一步を踏み出す気概を促すものであり、市民の皆様の暮らしや地域の将来を守るためには、従来の枠組みにとらわれず、必要な改革に果敢に挑む姿勢が求められるとの思いから、私が心にとどめている一節である。

私は、政治や行政の経験はないが、それ故に固定

的な発想にとらわれず、これまでになかった一歩を踏み出せるものと考えている。

周囲との対話を通じて組織全体に広げ、小さな挑戦であっても、思いを共有しながら進むことで、前向きな力が育まれていくことを、これまでの経験から強く感じている。

前向きな動きを積み重ねることで、職員が力を発揮し、市民や事業者、議員の皆様とともに、これまで乗り越えることができなかった課題の解決に結びつくものと期待している。

吉田松陰の一節は、このような思いから引用したものであり、私自身が先頭に立ち、結果にこだわり、必要な改革を一つ一つ確実に前へ進める覚悟をもって、全力で取り組んでいく。

街頭防犯カメラを駅周辺や公園等だけでなく、市民が必要と思う箇所へ設置する考えはあるか 民主ふじ

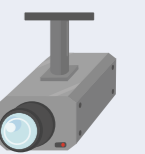
議員 不審者等から市民の安全を確保するため、通学路防犯カメラ設置費補助金の補助率等を引き上げ維持管理や修繕・取替え等も補助対象とするよう拡充し、地域の防犯活動を支援するとのことだが、他自治体では、街頭防犯カメラを多く設置したことにより犯罪率の低下などにつながった事例もあるため、駅周辺や公園等だけでなく、市民が必要と思う箇所へ設置する考えはあるか。

市長 昨年度開始した街頭防犯カメラ設置事業は、通学路防犯カメラを補完するため、駅周辺や公園等公共性が高く犯罪抑止のために効果的な場所などを中心に、市が防犯カメラを設置する。

この事業を始めるに当たり、令和5年度に富士警察署と協議を行い、通学路防犯カメラを設置できない場所のうち、30か所を街頭防犯カメラ設置候補として選定し、令和10年度までに計30台を設置する計画である。

今後も、公共性が高く犯罪抑止のために効果的な場所を中心に、過去の犯罪発生状況や不審者出没情報なども考慮しながら、設置箇所を検討していく。

また、町内会・区や市民団体などから設置要望をいただいた場合には、富士警察署や周辺住民などとその必要性和効果を協議し、防犯カメラの設置が犯罪の未然防止に有効と認められる箇所には、優先順位をつけた上で設置を進めていく。



市長が最重点に掲げる「人を増やすこと」の成果指標、数値目標、達成時期について伺う 草の根ふじ

議員 市長は、結果として最重点に掲げることは「人を増やすこと」だとしているが、定住人口や交流人口など、どの指標を用いて成果を測るのか、具体的な数値目標や達成時期を設定する考えはあるのか伺う。

市長 私は、まちの活力を生み出す最も重要な要素は人であると考えており、移住・定住、交流、U・Iターンなど、主に首都圏から積極的に人を呼び込む戦略に重点的に取り組んでいく必要があると考えている。

難聴高齢者の補聴器購入を支援する助成制度の概要と方向性について伺う 凜の会・公明党

議員 包括的支援について、難聴高齢者の補聴器購入を支援する助成制度の創設に取り組むとあるが、制度の概要と周知を含めた今後の方向性について伺う。

市長 本制度は、加齢による聴力の低下により、周囲との円滑なコミュニケーションが難しくなりつつある高齢者に対して、認知症やフレイル予防のためのコミュニケーション手段の確保や積極的な社会参加を促すことを目的としている。

耳鼻科等において、中等度の加齢性難聴のため補聴器の装用が必要と診断された65歳以上の高齢者を対象に、3万円を上限に補聴器購入費用の2分の1を助成する。

市長が理想とする「稼げる自治体」において新たに呼び込む投資の内容と、想定する指標は 心政富士

議員 市長は、地域の強みを最大限に生かし、本市に新たな投資を呼び込むことで、にぎわいと活力を生み出していきたい。これにより、地元企業が潤い、働く人の所得が増えることでさらなる投資を呼び込む好循環が生まれ、市民の満足度が最大限に高まっていくことこそが私が理想とする「稼げる自治体」の姿であるとしているが、ここで言う投資とはどのようなものを想定し、どのような指標を想定して「稼げる自治体」を目指していくのか伺う。

市長 「稼げる自治体」とは、地元企業が潤い、働く人の所得が増えることで投資を呼び込む好循環が生まれ、市民の満足度が最大限に高まっていくことであると考えている。

人を増やす施策の成果指標としては、現在、富士市デジタル田園都市総合戦略において、「生産年齢人口の減少数の緩和」「東京圏からの若い世代の社会動態の改善」「滞在人口の拡大」などを設定している。また、総合戦略にひもづく各施策においても、「観光交流客数」や「移住相談から移住につながった人数」「誘致企業数」などをKPIとして設定している。

このような中、これらの目標とする時期は、総合計画前期基本計画の終期である令和8年度末であることから、現在策定中の総合計画後期基本計画において、改めて具体的な数値目標などを検討していく。

また、申請時及び補聴器購入から1年後を目安に、補聴器利用前後の状況と、利用による耳の聞こえや社会参加などの生活に関するアンケートを実施し、その効果を検証するとともに、介護予防教室等への参加を促すなどの支援を行う予定である。

本事業の周知については、地域において高齢者の相談窓口を担う地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へ事業の説明を行うとともに、広報紙等により案内するなど、市民への広報に努めていく。

本事業の実施により、より多くの高齢者の社会参加を促し、認知症やフレイル予防を図るとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう支援を行っていく。

このため、地域の強みを生かしながら、長期的な視点で税収や雇用のほか、にぎわいの創出が見込める投資を呼び込んでいく。

具体的には、大規模集客施設や富士山フロント工業団地第3期等への工場、豊かな自然や歴史、文化を生かした滞在型の観光施設の誘致などを想定している。

このため、私自身がトップセールスを行うとともに、市長直轄の「稼ぐ力推進室」を設置して誘致活動を強化するなど、本市への投資の実現に努めていく。

また、「稼げる自治体」に関する指標としては、現在策定中の総合計画後期基本計画において、分かりやすい指標となるよう検討する。

新富士駅南口周辺に新たな対流を呼び込む環境の創出に向けた計画策定について伺う 心政富士

議員 市街地形成については、新富士駅南口周辺に新たな対流を呼び込む環境の創出に向けた新富士駅南口周辺都市機能形成基本計画を策定することだが、本計画を策定することで民間事業者の参入や具体的な施設整備がどのように加速化できると考えるか伺う。

市長 本計画は、新富士駅南口周辺の良好な市街地環境の創出とにぎわい、交流の活性化を目的に、市民、事業者、行政が共有できる将来の目指す姿などを定めるものである。これまでの駅前の高度利用に向けた地権者等との協議や、開発促進に向けて実施した民間事業者に対するサウンディング調

「木育キャラバン」はどのような形で開催するのか 真政会

議員 移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」の実施に取り組むとしているが、具体的な時期や開催方法等について伺う。

市長 「木育キャラバン」は、東京おもちゃ美術館が運営する、良質な木のおもちゃを詰め込んだ移動型のおもちゃ美術館で、木の温もりや香りに触れる遊びを通じて、子どもたちの感性を育み森林への関心を高めるイベントとして全国各地で開催されており、親子で楽しめる貴重な木育体験の機会となっている。

開催場所や時期については、近年の猛暑日に子供の遊び場を確保することを考慮し、空調設備の

整った広い室内を会場とし、新年度の夏休み期間中の2日間での開催を予定している。

具体的には、北里アリーナ富士を会場として、国産材を中心とした300点以上の木のおもちゃを用意し、親子で自由に遊んでいただくほか、参加者同士で協力しながら積み木を積み上げて、大きな作品を作るイベントなども予定している。

開催に当たり、市が地域ボランティアを募集し、東京おもちゃ美術館から派遣される「おもちゃコンサルタント」と連携してイベントを実施するとともに、会場内に富士ヒノキのPRブースを設置し、本市の森林の状況や富士市産木材を使用した建物への補助制度などについて子育て世代へ周知を行っていく。

音楽で市議会をもっと身近に「議場コンサート」を開催しました！

昨年に引き続き、2月定例会の開会に先立ち、議場コンサートを開催しました。今回は、鍵盤ハーモニカアンサンブル「ふじ☆きらりん」の7人により4曲が披露されました。

7つの鍵盤ハーモニカが織りなす音の重なりが大変美しく、心に響く温かな演奏でした。

この取組は、市議会を身近に感じていただくとともに、芸術文化を振興するために企画しています。

今回も、多くの方にお越しいただき、演奏後には、本会議の傍聴もしていただきました。

- 【曲目】 ・草競馬 ・花は咲く
・となりのトトロ ・いつも何度でも



▲演奏の様子

演奏をお聴きになりたい方はこちら▶





議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では18人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細につきましては富士市ウェブサイトの本会議の議会中継(録画放送)や6月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧になれます。

おぎ た 荻田 丈仁	1. 岳南電車の存続意義と今後の展望について 2. 市長が考える静岡県東部の広域連携の在り方について
えん どう 遠藤 盛正	1. 2040年に高齢者人口のピークを迎えるに当たり、富士市の高齢者介護の今後について
もち づき 望月 徹	1. 婚活支援のさらなる推進を一結婚の多いまちづくりへ 2. 指定管理者制度導入に伴う、新卒採用人員減少などの副作用について
こ い け 小池 義治	1. 市長選挙の公約の進捗管理と行政計画への位置づけについて 2. 市長のSNS発信と公人としての情報責任について
い と う 伊東 美加	1. 子供の最善の利益を実現するための教育と福祉の一体的推進について
せ き 関 明美	1. 若者がボランティア活動に参加しやすい環境の整備について
やま お か 山岡 祐貴	1. 中心市街地の価値と今後の方向性について 2. 投票率の向上と政治参加の促進について
お の 小野 泰正	1. 富士市のパブリック・コメント制度について
すぎ や ま 杉山 幸宏	1. 富士総合運動公園野球場の改修について 2. 左富士臨港線の進捗状況と今後の見通しについて
こ い け 小池 智明	1. 操業停止中の大手事業所用地の活用促進について 2. アクションカードを活用した避難所開設・運営訓練の導入等について
い で 井出 晴美	1. 富士市の人口減少・少子化対策におけるPR戦略について
い し か わ 石川 浩司	1. 富士市役所並びに出先機関でのシステム障害による影響と今後について 2. 富士市役所における職場環境と各種ハラスメントの対応について
さ と う 佐藤 菊乃	1. DV被害を受けてひとり親家庭となった方への生活再建支援について
ふ く な が 福永 意人	1. 小中学校における空調設備(エアコン)の整備について
は ぎ の 萩野 基行	1. ペットボトルキャップ回収の推進について
ふ じ た 藤田 哲哉	1. 最新のシミュレーションプログラムを活用した防犯講座について 2. 公共施設における国旗、市旗及び校旗の取扱いについて
すぎ や ま 杉山 諭	1. 市民通報システム、マイシティレポートの利用状況について
さ さ が わ 笹川 朝子	1. 富士川ふれあいホールの利活用について 2. 旧女性活動センターに係る建物及び土地の処分について

富士宮市議会・富士市議会合同勉強会を実施しました

令和8年1月21日、富士宮市議会・富士市議会合同勉強会として、富士市及び富士宮市の小中学校の給食に牛乳を提供している富士の国乳業株式会社(富士宮市北山)と、ジビエの加工や地ビールを製造している株式会社FARMENT(富士宮市大鹿窪)を視察しました。

当日は、2つのグループに分かれ、それぞれの会社に伺い、製造施設・製造過程の見学や従業員のお話等から、富士宮市の地場産業についての理解を深めました。

視察終了後は、両市議会議員による意見交換会を実施しました。



▲株式会社FARMENTでの視察の様子

議員ハラスメント研修を実施しました

令和8年2月5日、弁護士の太田雅幸氏を講師に迎え、「議会におけるハラスメントの防止テーマに議員研修会を開催しました。

太田氏からは、ソジハラ、マタハラ、パタハラ、票ハラなど、従来のパワハラやセクハラにとどまらない多様化したハラスメントの定義についての話や、ハラスメント行為は議員から市職員に対してだけでなく、議員同士や、場合によっては市職員から議員に対して行われることもあるといった話を伺い、事例を通じてハラスメント防止のための理解を深めました。

議員の関心も非常に高く、講話の終了後には、多くの質疑や意見交換が行われました。



▲議員ハラスメント研修の様子

議会モニター会議の報告

令和8年2月26日、議会モニター会議を開催しました。

議会モニター制度は、市民の皆様からの意見を広く伺い、議会活動に反映させることを目的に、議会基本条例で定められたものです。

会議では、本会議、委員会の傍聴や議会だより、議会報告会等について、意見を伺いました。

モニターからは、「より多くの人に議会だよりを読んでもらうために、一般質問した議員の写真を議会だよりに掲載してみてもどうか」「若い世代が議会に興味を持つきっかけとなるよう、議会報告会に中高生が参加できる仕組みを考えてみ

るべきではないか」など、様々な御意見をいただきました。



▲議会モニター会議の様子

新病院建設特別委員会の中間報告

12月16日、2月27日に新病院の建設についてを議題として開催しました。

●新病院建設基本計画(案)における職員配置計画について

問 新病院建設基本計画(案)では、正規職員の医師・歯科医師を3人増員するとのことですが、具体的にはどの診療科を想定しているのですか。

答 増員する3人の医師については、新病院において新たに設置する予定の救急科への配置を考えています。また、会計年度任用職員の医師も7人増員する予定ですが、こちらは臨床研修医を想定しています。

要望 救急科を新設して救急機能を拡充することにより緊急手術が増えることも想定されるため、現在、常勤医師が1人のみで非常勤職員によりカバーしている麻酔科の常勤医師の増員を検討してください。

●新病院建設に地元企業が参加できる選定基準を

要望 昨今の建設費高騰により、多くの自治体で入札の不調不落が発生していることから、複数の事業者によるプロポーザルへ参加してもらえるよう、応募者の要件として、単独の建設企業や特定建設JV、企業グループなどの選択の幅を持たせる予定とのこと。一方で、新病院建設という大規模事業は、本市に与える社会的・経済的影響が非常に大きい公共性の高い事業のため、地元企業が参加できる間口の広い選定基準となるよう検討してください。

●確実な新病院の建設と、事業費の妥当性の説明を

問 新病院建設に係る概算事業費として、これまで530億円から570億円が示されていますが、建設単価の上昇が続く中で、今後、さらに事業費が変動する見込みはありますか。

答 新病院の建設は、今後の病院経営や市の財政に与える影響が大きいことから、新病院庁内建設検討委員会や基本構想等審議会等で議論し、その結果を本特別委員会に示してきました。事業費については、他自治体の落札状況やゼネコンへのサウンディング調査、昨今の建設単価の上昇率等を踏まえて総合的に概算事業費を算定したことから妥当であると考えています。また、収支計画や財政シミュレーションを基に、さらなるコスト削減や増収対策の実施に加え、基金の設置などによる負担の平準化に取り組むことにより、病院事業会計及び一般会計ともに負担可能な水準を超えていないことを確認しています。事業費の妥当性及び事業の実現性を総合的に判断し、現時点では事業費の変動はないものと考えています。

要望 物価高騰や人件費の上昇により、基本構想で示された事業費から大幅な増額となっていますが、新病院の建設は市民の命や地域の医療を守るために必要不可欠であり、1日でも早い開院が望まれるため、遅滞なく確実に進めるとともに、今後も事業の進捗に応じて事業費の妥当性を検証し、しっかりと説明してください。

『高校生議会』を市議会議員がサポートしました！

昨年12月24日に第2回高校生議会議を開き、市内6つの高校の代表者が、自らが発見した富士市の課題やその解決策等について議場で質問しました。

昨年と同様、市議会議員がサポート議員として、質問の仕方や発言通告書の書き方、議会用語等を高校生にレクチャーするなど、当日まで様々な支援を行いました。



▲オープニングイベントで意見込みを話す高校生議員

当日の映像を御覧になりたい方はこちら▶



3月25日の本会議で副議長選挙が行われ、太田康彦議員が当選しました。また、議会運営委員会、各常任委員会、各特別委員会の委員が改選されました。



笠井 浩
第49代議長



太田 康彦
第59代副議長

総務市民委員会



(後列左より)杉山幸宏・佐野智昭・鈴木幸司・小池智明
(前列左より)山下いづみ・萩野基行・石川浩司・笠井浩

【所管事項】

総合的な企画・調整、財政、税金、市民生活、スポーツ、防災などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

産業教育委員会



(後列左より)望月 昇・小野泰正・萩田丈仁・太田康彦
(前列左より)関 明美・杉山 諭・植松光徳・笹川朝子

【所管事項】

商工、農林、労働、清掃、環境、教育などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

議会運営委員会

【委員長】佐野 智昭
【副委員長】長谷川祐司
【委員】川窪 吉男、
遠藤 盛正、鈴木 幸司、
小池 義治、萩野 基行

ユニバーサル就労推進特別委員会

【委員長】遠藤 盛正
【副委員長】新家 大輔
【委員】井出 晴美、
佐藤 菊乃、福永 意人、
藤田 哲哉、杉山 幸宏

新病院建設特別委員会

【委員長】高橋 正典
【副委員長】植松 光徳
【委員】川窪 吉男、
萩田 丈仁、石川 浩司、
杉山 諭、鈴木 幸司

総合計画審査特別委員会を設置しました。

令和8年度中に策定予定の「第六次富士市総合計画後期計画」について、市議会として内容を審議していくため総合計画審査特別委員会を設置しました。

【委員長】望月 昇
【副委員長】鈴木幸司
【委員】委員長、副委員長を除く全議員

◎委員長 ○副委員長

福祉保健委員会



(後列左より)新家大輔・遠藤盛正・小池義治・伊東美加
(前列左より)川窪吉男・下田良秀・佐藤菊乃・井出晴美

【所管事項】

福祉、保健、こども、病院などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

建設消防委員会



(後列左より)長谷川祐司・高橋正典・稲葉寿利・吉川隆之
(前列左より)山岡祐貴・藤田哲哉・福永意人・望月 徹

【所管事項】

道路、河川、公園、都市計画、上・下水道、消防などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

議員ふじさん歩

昼は富士山を眺めながらのんびり、 夜は工場夜景のビューポイント

にゅう どう ひ もん

入道樋門公園

(担当:新家大輔)



昭和9年、洪水や高潮から宮島地区を守るため、富士早川と下掘川が合流する入道川河口に入道樋門が造られました。その東側に隣接する形で平成15年に完成したのが入道樋門公園(新浜公園)です。

この公園では、平成13年に完成した現樋門だけでなく、保存されている初代入道樋門や田子浦樋門、完成記念碑を見ることができ、散策しながら治水の歩みを学べます。園内にはあずまややベンチ、駐車場、トイレが整備されていて、家族や友人とお弁当を持って散策するのも最適です。また、夜にはライトアップされたポリプラスチック(株)富士工場やその光景を映す川面が幻想的で、写真映えする工場夜景を楽しめます。

昼も夜も楽しめる穴場スポット、入道樋門公園を、ぜひ一度訪れてみてください。



議会にひとこと

今回は、富士市立高校の田中拓未先生にお聞きしました。

(インタビュアー:萩野基行)



本校は、探究学習に力を入れており、行政や地元企業などと協働した授業を積極的に取り入れています。

令和6年度から始まった高校生議会には2年間担当教諭として、サポート議員の協力をいた

だきながら、全力で生徒とともに取り組んできました。当日の議場で市長等とのやり取りは生徒にとって貴重な体験となり、通告書の作成やサポート議員との打合せなど、本番に至るまでに意見交換の場を多く持てたこともとてもよかったと感じています。

近年の10代、20代の若者は、政治を自分事として捉えることが難しく、政治への関心を持ちづらいと感じています。高校生議会で提案した政策や若者からの意見が市議会でも議論され、条例など目に見える形で反映されれば、若者の政治参加を増やすきっかけとなると思いますので、一人でも多くの若者の声を議会で取り上げていただきたいと思います。

Vol.12

議会

Q&A

会議録って
どんなもの?

(担当:福永意人)

A. 会議録とは、本会議や委員会での発言内容を記録した公式文書です。誰がどんな意見を述べ、どのように議論が進んだのかを確認できる、いわば「議会の記憶」です。

富士市では、会議中の音声をもとに会議録原稿を作成し、議会事務局の職員が複数人体制で誤字脱字や内容に不備がないかを丁寧にチェックし、議会運営の透明性を支える重要な資料となっています。

作成された会議録は、市議会ウェブサイトで公開されており、どなたでも閲覧できます。過去の議論も検索できるため、関心のあるテーマを調べる際にも便利です。議会の動きを知る入口として、ぜひ御活用ください。

編集後記

昨年12月21日の富士市長選挙により金指祐樹新市長が誕生し、令和8年2月定例会では新市長の下での令和8年度市政運営について審議しました。議会広報委員会も気持ちを新たに、市民の皆様に分かりやすい議会だよりをお届けできるよう取り組んでいきます。

令和8年度もよろしくお祈りします。

(川窪吉男)

次回定例会予告

6月定例会は、6月12日から6月29日まで開催される予定です。



発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索